事業番号　0368

平成24年行政事業レビューシート　（文部科学省）

事業名	中学校・高等学校スポーツ活動振興事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和60年度	担当課室	参事官（体育・青少年スポーツ担当）	参事官 長登　健	
会計区分	一般会計	施策名	XⅡ-1 子どもの体力向上		
根拠法令（具体的な条項も記載）	スポーツ基本法第33条第1項第2号	関係する計画、通知等	スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定) スポーツ基本計画（平成24年3月30日策定）		
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	学校体育大会の開催に伴う地方公共団体の負担を軽減するとともに、学校体育・運動部活動の更なる発展を図る観点から、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に対する支援を行う。				
事業概要（5行程度以内。別添可）	開催都道府県の経費の一部（諸謝金（競技役員等の謝金に限る。）、旅費（選手旅費は除く。）、褒賞費、消耗品費、賃金、印刷製本費、通信運搬費、借料及び損料、会議費）について補助。 【実施方法】開催地の都道府県に補助（補助率：定額）				
実施方法	□直接実施　□委託・請負　■補助　□負担　□交付　□貸付　□その他				

予算額・執行額（単位:百万円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
予算の状況	当初予算	51	63	63	63	64
	補正予算	－	－	－		
	繰越し等	－	－	－		
	計	51	63	63	63	64
執行額		51	63	63		
執行率（％）		100%	100%	100%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値（　年度）
本事業は、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に対する支援を行うことで、学校体育大会の開催に伴う地方公共団体の負担を軽減するとともに、学校体育・運動部活動の発展に寄与することを目的としているものであり、定量的な指標はなじまない。	成果実績	%	—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
全国高等学校総合体育大会運営事業に対して補助を行った競技数(平成23年度は、バレーボール、ソフトテニスは男女まとめて1競技として算出。）	活動実績	件	31	37	36	—
	（当初見込み）		—	(41)	(41)	(41)
全国中学校体育大会運営事業に対して補助を行った競技数(平成23年度は、バレーボール、ソフトテニスは男女まとめて1競技として算出。）	活動実績	件	17	23	23	—
	（当初見込み）		—	(20)	(20)	(20)

単位当たりコスト

1競技当たりの補助金額 （1．1百万円／競技）	算出根拠	単位当たりのコスト=平成23年度補助金額（平成23年度確定額）41，312千円／補助競技数（平成23年度実績）36競技
全国中学校体育大会運営事業に対する1競技当たりの補助金額 （1．0百万円／競技）		単位当たりのコスト=平成23年度補助金額（平成23年度確定額）21，986千円／補助競技数（平成23年度実績）23競技

平成24・25年度予算内訳

費　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
地方スポーツ振興費補助金	63百万円	64百万円	
計	63百万円	64百万円	

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業の補助対象である全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会は、毎年多くの中高生が参加しており、全国を舞台に日々の練習の成果を競い合う機会として非常に大きな意義を持っている。 なお、開催県の費用負担が大きく、とりわけ気候的条件に制約がある冬季競技の開催は特定地域に集中するため、全国的イベントの機会確保と負担軽減の観点から、国による補助は必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助金の使途は、旅費、借料など、当該事業を行うにあたり必要性が高い費目のみを対象としている。また、補助金額も都道府県負担金の額と同額を上限としており、負担割合の妥当性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	補助事業者である都道府県には実行委員会が設置され、適切かつ迅速に事業を実施するための効率的な形態となっており、具体的に事業を実施する各種目の実行委員会と連携し、高い実効性をあげている。 数年前から事業実施のために十分な計画が行われ、大会運営、規模については中学生、高校生のスポーツの最大の祭典として、大きな実績を上げている。 また、開催された大会の内容や結果等については、大会ホームページ等により広く公開され、スポーツの普及に貢献している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

点検結果	・当事業については、三位一体の改革の際、他の補助事業同様、国として実施する事業内容の厳選等により既に十分な事業の効率化を図っている。 ・当該事業の執行状況に係る点検方法については、補助時に補助事業者の実施計画に問題がないか確認するとともに、精算時にも補助事業者において実施した実績を報告してもらうことで、支出等が適切なものとなっているか書類等により確認を行っている。 ・事業成果については、開催都道府県の経費の一部を補助することで、全競技が予定通り実施されたことから、着実に全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会の支援が行われたと認められる。

予算監視・効率化チームの所見

現状通り	1. 事業評価の観点：この事業は、学校体育・運動部活動の更なる発展を図る観点から、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に対する支を行うことを目的としており、昭和60年度から実施している長期継続事業である。 2. 所見：この事業は、国として実施する事業内容の厳選をしており、現在の事業内容、予算規模を引き続き維持すべきであるが、事業の効率的・効果的な実施を目指し、不断に事業の改善を行うべきである。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

-	

補記　（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

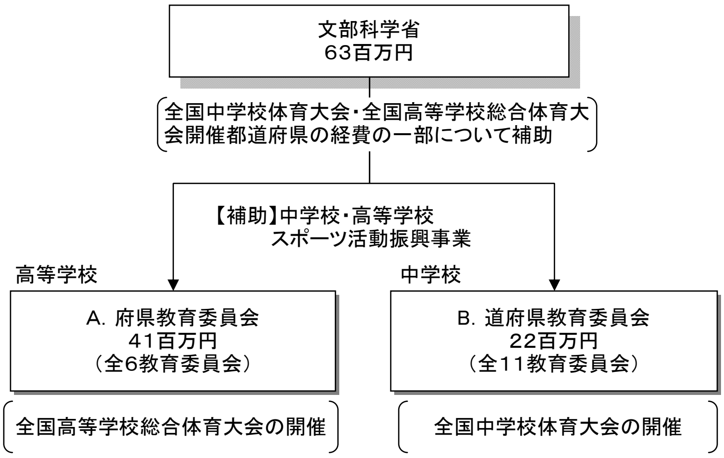
○スポーツ振興基本計画について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm
○スポーツ基本計画について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年行政事業レビュー	0348	平成23年行政事業レビュー	0346

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

※平成23年度実績を記入



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.青森県教育委員会		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
旅費	運営委員等旅費	4.9
借料・損料	バス借用等	4.4
消耗品費	事務用品、看板等	1.7
印刷製本費	プログラム、結果報告等	1.0
諸謝金	医師、看護師	0.3
褒章費	メダル等	0.2
その他	事務局電話、切手代、お茶	0.1
	※補助対象経費に対する国費の割合で単純に按分した金額である	
計		12.6

E.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

B.大阪府教育委員会		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
借料及び損料	会場使用料	1.7
旅費	役員旅費	0.8
印刷製本費	プログラム、報告書等	0.3
消耗品費	協議運営用品、救護用品	0.2
通信運搬費	物品搬送	0.2
その他	医師看護師謝金、トロフィー、非常勤職員賃金	0.1
	※補助対象経費に対する国費の割合で単純に按分した金額である	
計		3.3

F.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

C.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

G.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

D.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

H.		
費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.全国高等学校総合体育大会

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
3	青森県教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	12.6	－	－
2	岩手県教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	11.1	－	－
1	秋田県教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	9.6	－	－
4	山形県教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	3.3	－	－
5	群馬県教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	3.3	－	－
6	大阪府教育委員会	全国高等学校総合体育大会の開催	0.7	－	－
7					
8					
9					
10					

※補助事業
※単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

B.全国中学校体育大会

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	大阪府教育委員会	全国中学校体育大会の開催	3.3	－	－
2	滋賀県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	3.3	－	－
3	兵庫県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	3.3	－	－
4	和歌山県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	3.3	－	－
5	京都府教育委員会	全国中学校体育大会の開催	2.2	－	－
6	奈良県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	2.2	－	－
7	栃木県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	1.1	－	－
8	山口県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	1.1	－	－
9	宮城県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	1.1	－	－
10	長野県教育委員会	全国中学校体育大会の開催	1	－	－

※補助事業